

越美山地緑の回廊	
管轄森林管理局・署	近畿中国森林管理局 福井森林管理署、滋賀森林管理署
所在地	福井県大野市・池田町・南越前町、滋賀県長浜市
面積	約24500ha(近畿中国森林管理局管内:約17200ha)
設定年	平成16年3月設定、平成17年3月拡張
緑の回廊の概要 (設定目的)	<p>近畿中国森林管理局と中部森林管理局は、野生動植物の生息・生育地の拡大と相互交流を促すことを目的に、6つの保護林を連結する「越美山地緑の回廊」を設定している。</p> <p>越美山地は、福井県と滋賀県、岐阜県の県境部に位置し、日本海側特有のブナ林等が見られ、ツキノワグマやニホンカモシカ等の多様な動物が生息するなど、貴重な自然が残っている。</p> <p>昔から自然の力で育まれてきた森林はそのままの形で残し、人が手入れしてきた森林についても野生動植物の生息・生育環境に配慮した森林づくりを行い、人々との共生を目指している。</p>



冠山国有林



ツキノワグマ



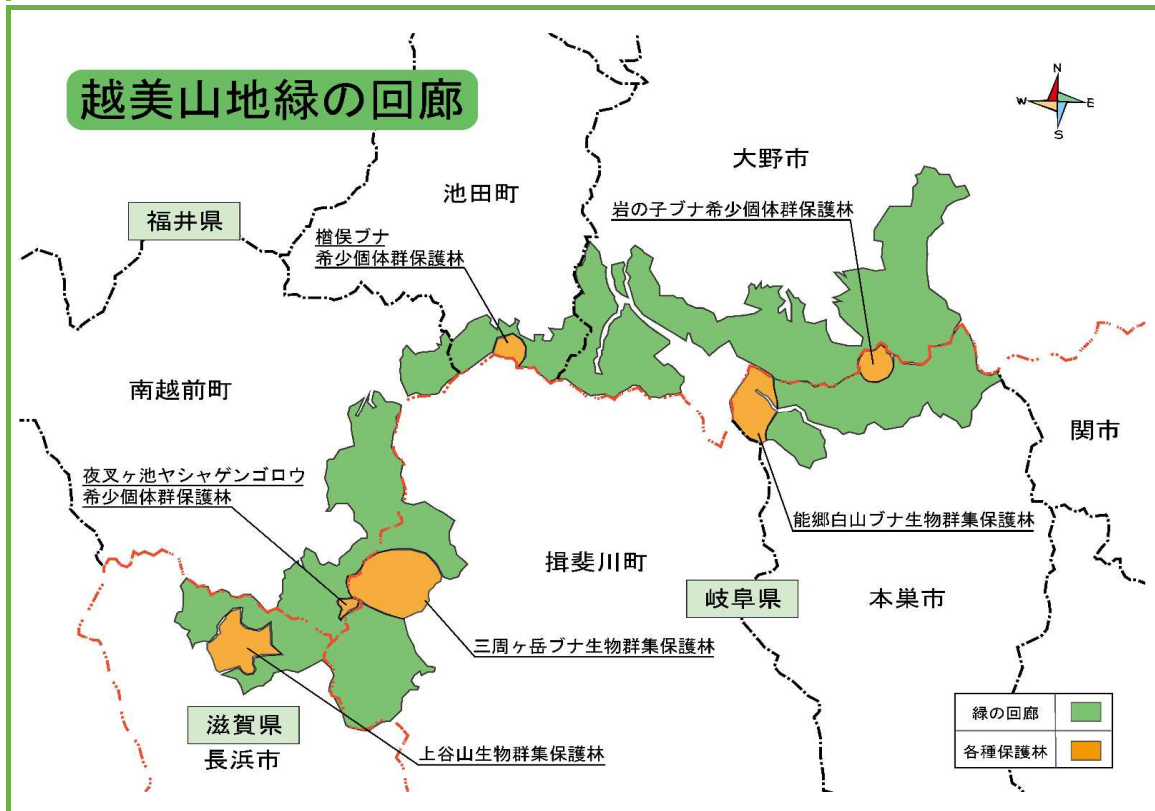
ニホンカモシカ

モニタリング調査の概要

調査年度	令和元年度(平成17年から調査を継続実施)
調査項目	森林調査(植生調査、堅果類結実状況調査)、動物調査(哺乳類調査、鳥類調査、シカ密度調査)等
調査手法	既設の調査プロットにおいて、樹木や下層植生の生育状況を把握。目視にてブナ、ミズナラ等の結実状況を確認。センサーカメラ及びフィールドサインにより生息哺乳類を調査。ニホンジカの糞塊調査を実施。ラインセンサス法で出現する野鳥を記録。
結果概要	<p>ブナ原生林、スギ人工林ともに大きな変化はなく維持されていると推測された。</p> <p>ブナ、ミズナラの結実は、ともに凶作であった。</p> <p>動物調査では、13科19種の哺乳類及び20科31種の鳥類が確認された。</p> <p>糞塊調査の結果、一部にニホンジカの生息密度が高い箇所があると推測された。</p>

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

越美山地緑の回廊



緑の回廊内での 注意事項

- ★国有林内の動植物の捕獲・採集はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。